

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院

2021年
新春号

Vol.58

新春のご挨拶

公立丹南病院
管理者 伊藤重一



新年おめでとうございます。
令和3年を迎えるにあたり、新春の抱負を、病院のこれまでや体制の事も紹介しながら書かせていただきます。

当院は、2000年2月、公立丹南病院として開院し、21年目を迎えます。2市（鯖江市・越前市）3町（越前町・南越前町・池田町）で構成された「公立丹南病院組合」が土地建物を管理し、病院運営は指定管理を受けた「地域医療振興協会」が行っております。「協会」は、当院以外に全国に約70カ所余りの病院・診療所等の運営を行っており、昨年35周年を迎えました。

病院の責任者は布施田哲也院長ですが、管理者である私の役割は、「協会」と病院の連携、また医師会との連携を行い、病院の健全な運営を院長と協働して行うことです（2017年3月までは、病院長、管理者兼務でした）。なお、「公立丹南病院組合」の管理者は、鯖江市長です。

さて、この21年間、丹南二次医療圏の中核病院として、微力ながら、地域医療に貢献できたのではないかと自負しています。2012年には、新病院・在宅棟建設、医療機器の更新等により

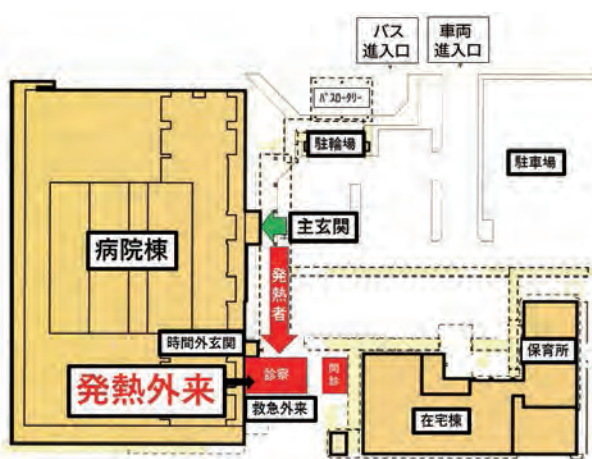
医療レベルの向上が図られました。これもひとえに地域の皆様から信頼をいただき、病院を受診していただけるからこそと感謝しています。

しかし、昨年来のコロナ感染症により、社会全体が混乱し、当院も大きな影響を受けました。感染症指定医療機関の責務を果たすべく、軽症・中等症のコロナ陽性患者さんの入院、また、発熱・接触者外来等を設置し、感染（疑いも含む）患者さんの診療、検査等を行ってきました。そのため、本来の外来入院業務、検査業務に大きな支障が生じ、皆様には多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今後も、コロナ感染対策は気を緩めることなく、皆様に安心できる対応を行ってまいります。救急外来付近には、感染（疑い）患者さんの診療をするためプレハブ棟（発熱外来）を建てています（図、写真）。救急室も動線を区分し、病棟もさらに安全な形（コロナ感染者専用陰圧病室前に風除空間新設）に改築し、院内感染防止策を確実に、一般患者さんにも常に安心・安全な医療を提供していきたいと考えています。

最後に、ご存じのように、昨年10月に新鯖江市長が誕生しました。前市長からの市政を継続し、さらに発展的に展開することが期待されます。このため、新組合管理者とともに、ゼロからスタートといった気持ちで、職員全員で、地域医療の実践を心がけたいと思います。

今後も変わらぬ当院の理念を
書かせていただきます。



理念

地域に密着した、地域住民のための、包括的医療(保健、医療、福祉)の実践



病院薬剤師

について



薬剤師 玉村晃

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で大変な1年でした。イベントなどが中止になったり、テレビや新聞などでは「3密」「ソーシャルディスタンス」「クラスター」と、このような言葉を毎日のように見聞きしていました。今年は、少しでも新型コロナウイルスが落ち着いてくれることを期待したいと思います。

さて、話は変わりますが、昨年、フジテレビで「アンサング・シンデレラ 病院薬剤師の処方箋」というドラマが放送されました。皆さん、ご覧になったでしょうか？ 医師や看護師を主人公とした連続ドラマは今までたくさんありましたが、病院薬剤師を主人公として描く連続ドラマは初めてでした。医師のように頼られず、看護師のように親しまれなくても、“縁の下の力持ち（＝アンサングヒーロー）”として患者さんのために奮闘する病院薬剤師を石原さとみさんが演じていました。テレビを見た方からは、いろいろな意見を聞きますが、少しでも病院薬剤師について興味を持っていただけたら嬉しいです。ご覧になっていない方は是非ご覧になってください。

『薬』は「諸刃の剣」とよく言われます。本来、病気の診断、治療、予防の目的で使われるものですが、使い方を誤れば、全く効果が期待できなかったり、逆に副作用による健康障害を引き起こしたりします。

例えば、「血圧の高い人」に血圧を下げる作用のある物質を投与すると血圧は下がります。しかし、「血圧の低い人」に血圧を下げる作用のある物質を投与するとどうでしょう？ 「身体」にとって益（良いこと）となる場合は『薬』となり、逆に不利益（悪いこと）となる場合は『毒』となります。薬剤師は、薬が適切に投与されているか、いつもチェックしているのです。

薬剤師は「小学生の将来になりたい職業ランキング」（日本FP協会調査）で、女子児童では毎年トップ10入りをしている職業です。しかし、福井県には薬科大学がなく、薬剤師は不足しています。

丹南病院は奨学金制度もあります。当院で働きたいと思っている方は是非ご連絡ください。お待ちしております。



自宅で出来る腰痛予防について

理学療法士
安立 勝一

皆さん腰痛にお悩みではありませんか？ 腰痛は加齢とともに腰回りの筋肉や関節が衰え、こわばって柔軟性が失われることが原因だと考えられています。そんな脆さを抱えた状態で、無理な動きが加わることで腰痛が発症します。①筋肉をほぐして柔軟性を得ること②筋肉を鍛えて強くすること、で腰痛の予防が見込まれます。

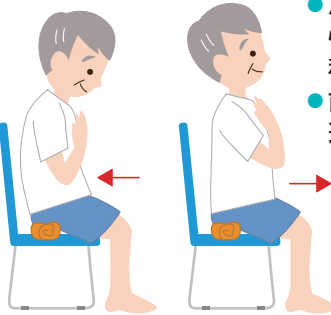
今回、自宅でできる腰痛予防の運動をご紹介しますので、ぜひ行ってみてください。



※腰の痛みが強くなる場合は中止し、無理をせず専門医に相談してください。

腰の前後運動

- タオルをお尻に敷き腰掛ける。手を前で組み、息を吐きながら上体を後ろへ丸める。

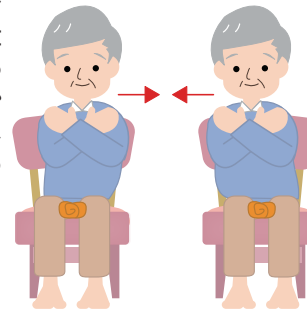


- 息を吸いながら前へ上体を移動させる。
- 前後10回繰り返す。

※前へ行くときは腰を反らさない!

腰の並行運動

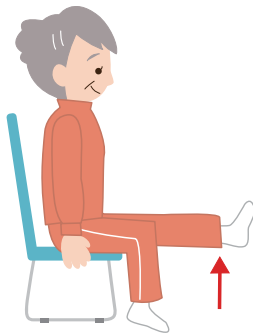
- 丸めたタオルを真ん中に置き、左右どちらかに体重をかける。バランスが崩れるところで止める。



- 逆方向に体重をかける。
- 左右10回繰り返す。

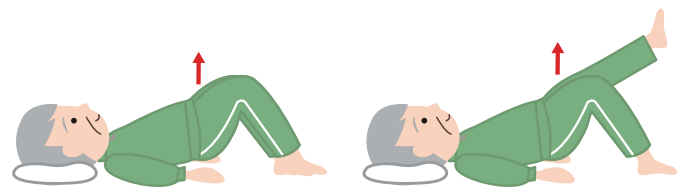
※左右の肩の高さは並行に保ちましょう!

太ももの前の筋肉を鍛える



- 椅子に浅く腰掛け、両手で座面を握る。
- 膝がまっすぐになるまで持ち上げ、戻す。
- 10回繰り返す。

太ももの裏の筋肉を鍛える



- 仰向けで膝・お尻・胸が一直線になるように持ち上げ、戻す。
- 10回繰り返す。
- ※腰は90度に曲げて立てる!

- 強度低めの動作を片足で行う。
- 10回繰り返す。
- ※片足をまっすぐに伸ばす!

● 公立 丹南病院

<https://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 メールアドレス:tannan-info@jadecom.or.jp
TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所 TEL:0778-51-5411

訪問看護ステーション TEL:0778-52-2050

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 FAX:0778-52-2151
メールアドレス:tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里 TEL:0778-51-5234

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 FAX:0778-51-8242
メールアドレス:tannan-nagomi@jadecom.or.jp

